

(様式 1 - 表)

令和 8 年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	126	豊田市立 稲武中 学校	代表	鯖戸 孝明
------	-----	-------------	----	-------

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、iその他（ ）】から選ぶ。

テーマ	自ら社会に働きかけられる生徒の育成	分野	b	地域連携
サブテーマ	郷土や他の地域のもの、ひと、ことから郷土のことを考える取組を通して	(その他) は分野を右欄に記入		
学校（づくりの視）の視点	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域の人、もの、自然と触れ合う機会を総合的な学習の時間や学校行事等で多く設定することで、地域に開かれた学校、地域と共に歩む学校づくりを進める。 2 小規模校のよさを生かした全校体制の活動を工夫するとともに、総合的な学習の時間を活用して3年間を通して地域について学ぶ「ふるさと学習」の取組を進める。 3 地域の特色ある自然・産業・文化について、現地を訪問して交流しながら学んだり、地域のボランティア活動や小学校、こども園との交流活動、稲武地域ならではの木材加工、地域の実態を考慮したスキー教室などを通して、生徒が誇りと愛着を抱く学校づくりを進める。 4 異なる自然環境のへき地校との交流を通して、多角的に地域の魅力や課題について気付き郷土を支えようとする取組を進める。 5 地域の自然環境や伝統文化等にも詳しい校内整備員を活用することで、生徒の豊かな心を育む環境整備を充実する。 			
活動内容・計画	<p>【活動内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域から学ぶ活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域を訪問し、自然・文化・産業などについて学ぶ活動（ふるさと学習） ・ 地域の人から学ぶ学習（ランプシェード作り、スキー教室） 2 異なる自然環境のへき地校との交流 <ul style="list-style-type: none"> ・ 篠島の中学校との交流・情報交換（地域の人々との交流） 3 地域へ発信する活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ こども園や小学校との交流、ボランティア活動への参加 ・ 地域の福祉施設などとの交流活動 ・ 地域との交流を意識した学校行事（中学校の活動紹介） <p>【活動計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 4月 各活動の組織・計画作成 5月 親子健康教育講演会 6月 夏花壇づくり 7月 篠島中学校との交流活動（1・2年生）、ランプシェード作り（2年生） 8月 地域でのボランティア活動（こども園・交流館・福祉センターなどに於いて） 10月 稲中フェスティバル（体育祭・文化祭）での活動発表、「稲武地区ふれあいまつり」（全校生徒）作品発表、ボランティア活動 11月 親子活動・感謝の会 11月～12月 総合的な学習「癒しのハンドケア」活動（3年生） 1月 スキー教室（1・2年生） 2月 春花壇づくり、総合的な学習発表会、活動のまとめ <p>※ 年間を通して、取組をHPや通信で地域へ発信する</p>			
補助員配置	校内整備員			
実績・期待される効果	<ol style="list-style-type: none"> 1 課題追究力 <ul style="list-style-type: none"> ・ 常に地域と関わることで、地域から学ぶ意欲を持続させることができる。 ・ 異学年とのグループ活動、全校での発表活動等を取り入れることで共働的な探究力が高まる。 2 地域への愛着 <ul style="list-style-type: none"> ・ 稲武の文化、社会、自然に対する認識を豊かにし、地域への愛着が高まる。 ・ 他地域の学校と交流することで、自分たちの地域の良さを再確認する。 3 自己肯定感 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学んだこと・身に付けたことを発表する機会を設けて他者から認められることで、自己有用感が高まる。 4 地域参画への意欲 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の人々との交流から人情に厚い地域のよさを実感し、地域に積極的に関わろうとする気持ちが高まる。 ・ コミュニティスクールや地域諸団体との連携を図ることで、地域の方々との協働的な活動が展開できる。 			
検証方法	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒の姿から <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の姿容していく姿を評価し、記録する。 ・ 生徒の感想記録から成果と課題を検証し、次の活動へ生かす。 2 地域の方々の声から <ul style="list-style-type: none"> ・ 講師、参加者、交流した人々の感想記録から成果と課題を検証し、次年度へ生かす。 ・ 取組に対する地域の声を広く集め、活動のあり方を常に見つめ直す。 			